



第九十二号 社会福祉法人 富士見会

ふじみだより

令和六年三月一日



コグニサイズ(頭を使いながら体を動かし、脳に刺激を与えて脳を活性化させる体操)を実際に体験していただきました。



真剣にお話を聞き、取り組んでいただきました。



目次

- P 1 令和5年度 青少年と未来をつなぐ教室
- P 2 行事紹介(サンホームふじみ・ふじみのさと)
- P 3 行事紹介
(第1・第2デイ)
- P 4 栄養課・総務課
- P 5 包括・支援センター
- P 6 温かい心に感謝
ボランティア報告
お知らせ・編集後記

富士見中学校で行った「青少年と未来をつなぐ教室」に、ふじみ第1・第2デイサービスセンターの生活相談員2名が講師となり出席しました。介護の現場では介護福祉士のみならず、多職種との連携で成り立ち、それぞれの職種の役割、地域の方との繋がりや関わり方について等説明されました。介護の仕事で役立つことは、学校の勉強はもちろんのこと、人生の様々な経験が糧となり活かされていくこと等、富士見中1年生の真剣な眼差しで講義を受ける姿が印象的でした。



ホームページアドレス
<https://fujimi-kai.or.jp>

サンホーム新年会と

節分会

サンホームふじみでは1月25日に新年会を開催しました。

まず初めに施設長よりご挨拶をいただき、その後は職員による獅子舞の披露がありました。職員の軽やかな動きや表現にご入居者様は見入っていました。そしてお獅子との記念撮影。間食では甘酒と正月風の和菓子を召し上がりながら楽しいひと時を過ごされました。サンホーム神社でお参りをしたりと和やかな時間を過ごされました。2月4日は節分会を行いました。ご入居者様は豆(甘納豆)を「鬼は外!福は内!」と言いながら鬼に向けて投げていました。とても楽しそうに過ごされました。(サンホームふじみ 一之瀬 記)



ふじみのさと新年会

ふじみのさとでは1月18日に新年会を開催しました。

午前中にはご入居者様と一緒に、粉からのうどん生地作りに挑戦しました。足踏みをして、種を寝かせた後はご入居者様に切っていたできました。キノコ汁と付け合わせのきんぴらごぼうも作り、夕食にいただきました。ご入居者様と職員協力して作った夕食に「楽しかった」「うどん美味しかったよ」「おかわり!」と笑顔がみられました。



ふじみのさとでは、レク時間に縁起物のだるまと干支の辰のポスターを作成し、お正月に向けて飾り付けを行いました。

(ふじみのさと 山口 記)



第1デイ
コグニサイズ始動

認知症加算の判定開始に伴い、新たに「コグニサイズ」が始まりました。

コグニサイズとは、頭を使いなから同時に身体を動かす運動です。2つの作業を同時に行うことで、認知症予防や軽度認知障害（MCI）の方々の認知機能の維持・向上の効果が期待できるといわれています。身体と脳を同時に使うのが難しいですが、間違っても大丈夫です！それだけでも脳が使われている感覚になります。皆さん、一緒に頑張りましょう！



ハッピーバレンタイン

2月の行事では、初の体験型チョコレートフォンデュを使用してバナナ・イチゴ・鈴カステラにチョコをつけて、チョコの淹に驚きドキドキしながらも、皆様上手にできました。甘い香りに包まれ、皆様楽しいひと時を過ごせたようです。
（第1デイサービス 荒木 記）



第2デイ
季節の壁飾り

12月はクリスマスマツリーをお花紙や折り紙を使用し、ご利用者様と職員の共同で作成しました。併せて塗り絵も掲示し、皆様笑顔で眺められていました。
1月は職員が辰年にちなんだ龍の貼り絵を折り紙を用いて作成しました。皆様から「立派だね〜」「本物のみたいだ」との、お言葉をいただきました。



年忘れ会・お屠蘇配り

12月25〜27日の3日間にかけて『年忘れ会』としてビンゴゲームを行いました。上位5名は景品がもらえるという事で、いつも静かな方も積極的に参加されました。

新年を迎え1月4〜6日の3日間は、『お屠蘇配り』を行いました。新年の抱負を伺うと「退院後デイに通うようになって、心身ともに順調に良くなってきている様に感じます。リハビリを続けて行きたいと思います。」「今年も楽しく過ごします。」「と話されていました。
（第2デイサービス 林 記）



目で楽しんで舌で愉しむ

行事メニュー

令和5年12月25日(月)にクリスマスにちなんだ行事食を提供させていただきます。

「メリークリスマス」の意味はクリスマスという日をみんなで楽しもうと伝え合う意味があります。

そして、令和6年の元旦にはご入居者様の一年の健康と幸せを願っておせち料理を提供させていただきます。

おせち料理は「今年も皆様が一年間、健康で幸せに暮らせますように」という願いが込められた縁起の良い料理です。

新年に縁起を担いだおせち料理をいただく食文化は、健康長寿、無病息災を祈るという習わしです。今も日本のこころとして根づいています。

これから徐々に春の訪れを感じる季節になりました。季節の変わり目ですので、体調に気をつけてお過ごしください。

(栄養課 野村 記)



「2025年問題」に向けた

2024年改定

BCP作成義務化について

介護保険制度は、要介護認定を受けた方が介護サービスを受けられる制度です。

介護保険制度は、2000年に施行されて以来、定期的に見直しが行われ社会情勢や環境に合わせた制度の見直しにより、その都度適切なサービスを受けてきました。2025年には人口が多い団塊世代が後期高齢者になりますので、

「2025年問題」に向けた特に重要な法改正になるようです。

① 地域ケアシステムの深化・推進

② 自立支援・重度化防止に向けた対応

③ 良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり

④ 制度の安全性・持続可能性の確保

この中でも一番ポイントとなるのが、「良質なサービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり」です。内容とすると、なるべく多くの事業所が活用できるように、

に、介護職員の処遇改善加算が1本化になります。なお、1年間の経過措置期間が設けられるようです。

他にも、2024年度から介護事業所でのBCP(事業継続計画)の義務化となります。

災害大国である日本で介護事業所の利用者様、職員を守るための計画策定や訓練を義務づける旨が記載されているものです。

令和2年度から現在も続いている新型コロナウイルス感染症、2024年1月1日に能登半島において大規模な地震が発生し、多くの被害者を出してしまったことなど、いつ自分たちの身に降りかかるかもしれない災害や感染症から身を守るために、当施設も作成内容に基づき、日々取り組んでおります。

また、BCPの目的は事業を継続的に運営していくことです。現状の把握と分析をして、継続的な改善が重要になる為、まずはひととおり作成することが第1歩となるようです。

(総務課 佐藤 記)

珊瑚寺の写経体験会とお茶会の開催



前橋市地域包括支援センター北部では、生活支援体制整備事業の推進の一環として、石井ハウス・珊瑚寺と協力し、地域のネットワーク作りと地域の人たちの活動の居場所作りを目的として、イベントを企画。1月19日に、富士見町石井の『赤城山石井ハウス』で写経体験会を開催しました。

富士見町の方や市内に住む方の17名が参加し、心を落ち着けて般若心経を書き写しました。

珊瑚寺住職内田様が写経の意義や手順を説明し、般若心経について

て解説。「目の前の作業に没頭することで、ストレス解消にもなる」と話されていました。参加者は般若心経を読み上げたあと、一字一字丁寧に、黙々と書き写していました。参加者の皆さんから「良い経験になりました」「心身ともにリフレッシュできました」等、好評でした。

今後、石井ハウスでどんな活動ができるか。住民主体の活動に向けて、参加者自身でどうしたら開催していけるか等、課題も見つかりました。今回、地域の社会資源を活用しての初の試みでしたが、イベントとしては成功できたのではないかと思っています。

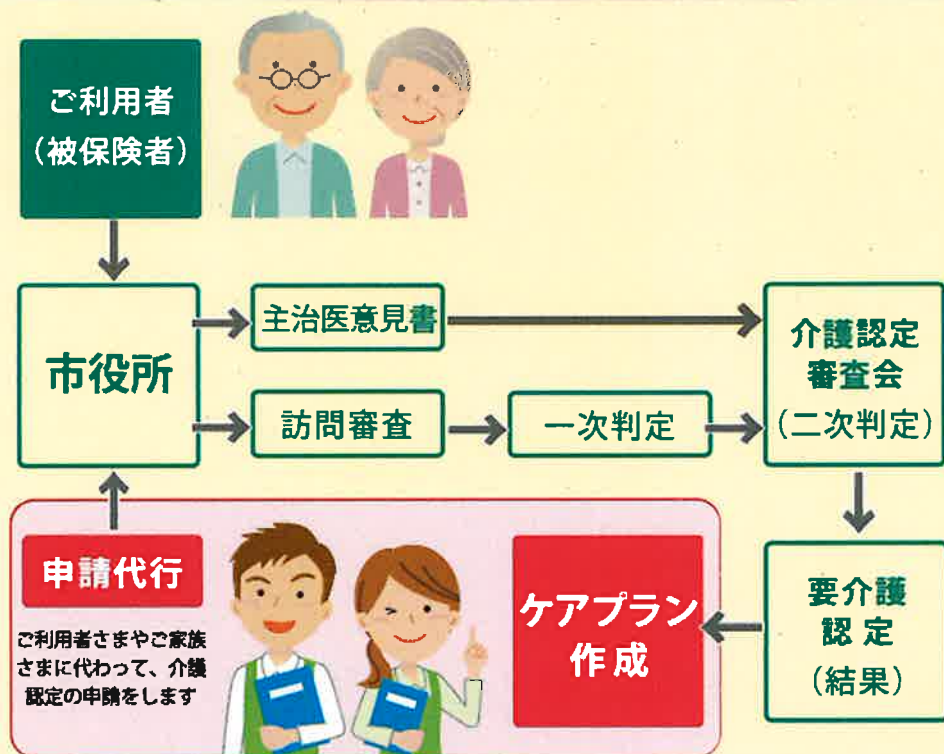
来年度も、地域の実情を踏まえて、色々と企画を考えていきたいと思っています。

(包括支援センター北部 中里 記)



皆様で写経体験を行っている風景です

支援センターからのお知らせです



急な介護ニーズ・転倒・物忘れなど、お困りごとありませんか？
安心して生活できるサポートを提供します。
デイサービスもご利用いただけます。
お気軽にご相談ください。

(支援センター長井 記)

温かい心に感謝

厚くお礼申し上げます。

- 須田勝利様ご家族
柿 100個
- 白茄子・茄子 5kg
- 北爪晴江様ご家族
尿取りパッド 40枚
紙オムツ 87枚
- 木暮美津江様
タオル 120枚
- 雨宮様
アロマディフューザー
アロマオイル 8種
書籍 3種類 3冊
- 匿名様
傘 6本
布袋 6袋他
- 神村秀子様ご家族
固形石けん 38個
- 羽鳥菊枝様ご家族
ほづれん草 5kg
- 赤城大沼土地改良区
白樺の里様
小麦粉 10kg
そば粉 5kg
- 角田みつ様ご家族
米 30kg

- 下田園芸様
パンジー 25鉢
- 明治安田生命様
タオル 35枚
- 樺沢文男様ご家族
紙パンツ 28枚
- 尿取りパッド 60枚
- 石井幸一様
雪かきスコップ 1個
- 塩澤義圃様ご家族
紙パンツ 27枚



「ほほえみの会」代表の中川利志子様より手編みの帽子を50個寄贈していただきました。色々な種類の毛糸で編まれており、お花のモチーフも付いているデザインもありました。とても可愛らしい作品になっておりました。大切に使用させていただきます。

お知らせ

旧富士見保健センターの跡地活用事業で、当法人が売買契約を行いました。令和6年10月の開設に向け、令和6年1月15日より、株式会社福島建築設計事務所の設計で小野里工業株式会社が工事を請負い改修工事を開始しております。

なお、施設改修後は、ふじみ第2デイサービスセンター、ふじみ居宅介護支援センター、前橋市地域包括支援センター北部の各事業所が移設予定となっております。それに向けて準備を始めております。今後、引き続き皆様によりよいサービスを提供していけるように取り組んで参りますので、今後とも宜しくお願いいたします。



編集後記

皆様のご協力により「ふじみだより」第九十二号が無事発行できましたことを感謝いたします。

今年は、関東でも大雪となる地域が多く出まして、久しぶりに雪かきをしたように感じます。

しかし、雪解けは意外と早く、いよいよ春の到来です。そこでサンホームふじみでは暖かくなったらご入居者様と外へ出る行事を計画中です。行事の様子は広報の他にもサンホームふじみのホームページにも記載しておりますので是非ご覧ください。

皆様も寒暖差や感染症などで体調を崩すことなく健康に過ごされるようお願いいたします。

(広報委員長 小林理 記)

ふじみだより 第九十二号

発行日 令和六年 三月 一日

社会福祉法人 富士見会

発行人 星、野 好 孝

〒三七一〇一二五

前橋市富士見町小沢二〇七番地一

TEL 〇二七二八八八三二一